

## PFOS、PFOA 以外の PFAS の国内の検出状況

公共用水域等における PFOS 及び PFOA 以外の PFAS (PFHxS 等) の存在状況については、環境省において各種調査を行っている。各種調査の概要を表 1、公共用水域等における検出状況について表 2～表 5 に示す。

表 1 公共用水域等における PFHxS 等の存在状況に関する調査の概要

調査名	概要
有機フッ素化合物全国存在状況調査	実施年度 令和 2 年度 対象物質 PFHxS 調査目的 有機フッ素化合物の排出源となり得る施設周辺における存在状況を把握するため 測定地点 有機フッ素化合物の排出源となり得る施設の周辺
要調査項目等存在状況調査	実施年度 令和 3 年度 対象物質 PFHxS 調査目的 要監視項目等への位置づけの見直しに向けた基礎情報収集のため 測定地点 過去データにおける濃度の高い地点等
化学物質環境実態調査 (H22詳細調査) (H30～R2 モニタリング調査)	実施年度 平成22年度、平成30年度～令和 2 年度 対象物質 PFHxS、PFDoA、PFTeDA、PFHxDA 調査目的 化審法の特定化学物質等について一般環境中の残留状況を監視すること及びPOPs条約に対応するため条約対象物質等の一般環境中における残留状況の経年変化を把握するため 測定地点 特定の排出源の影響を直接受けにくいような地点であり、調査水域での代表的と考えられる地点

注 1 : PFOS 及び PFOA は平成 25 年度に要調査項目、令和 2 年度に要監視項目となった。

注 2 : PFOS は平成 22 年度に、PFOA は令和 3 年度に化審法の第一種特定化学物質となった。

表 2 公共用水域等における PFHxS の検出状況  
(令和 2 年度有機フッ素化合物全国存在状況調査)

年度	測定地点数	検出地点数	濃度範囲 (ng/L)
2020 (R2)	47	36	<0.1~28

注：定量下限値（報告下限値） PFHxS 0.1ng/L

出典：環境省 有機フッ素化合物全国存在状況調査([https://www.env.go.jp/water/pfospfoa/post\\_123.html](https://www.env.go.jp/water/pfospfoa/post_123.html))

表 3 公共用水域等における PFHxS の検出状況  
(令和 3 年度要調査項目等存在状況調査)

年度	測定地点数	検出地点数	濃度範囲 (ng/L)
2021 (R3)	47	32	<0.1~4.7

注 1：定量下限値（報告下限値） PFHxS 0.1ng/L

注 2：検出地点数及び濃度範囲については出典に基づき本資料で独自に集計。

出典：環境省 要調査項目等 存在状況調査結果 (<http://www.env.go.jp/water/chosa/index.html>)

表 4 公共用水域等における PFHxS の検出状況  
(化学物質環境実態調査)

年度	測定地点数	検出地点数	濃度範囲 (ng/L)
2018 (H30)	47	44	<0.12~2.6
2019 (R1)	48	45	<0.06~1.8
2020 (R2)	46	44	<0.06~1.5

注 1：定量下限値 PFHxS 0.06~0.12ng/L 検出下限値（報告下限値） PFHxS 0.02~0.05ng/L

注 2：検出地点数及び濃度範囲については出典に基づき本資料で独自に集計。

出典：環境省 化学物質と環境 (<http://www.env.go.jp/chemi/kurohon/>)

表5 公共用水域等における長鎖PFCAの検出状況  
(化学物質環境実態調査)

年度	物質名	炭素数	測定地点数	検出地点数	検出範囲 (ng/L)
2019(H22)	PFDoA	12	27	3	nd~0.3
2019(H22)	PFTeDA	14	27	0	nd
2019(H22)	PFHxDA	16	27	0	nd

注1：検出下限値（報告下限値） PFDoA 0.014~0.1ng/L PFTeDA 0.021~0.1ng/L PFHxDA 0.014~0.061ng/L

注2：検出地点数及び濃度範囲については出典に基づき本資料で独自に集計。

出典：環境省 化学物質と環境 (<http://www.env.go.jp/chemi/kurohon/>)

## PFOS、PFOA以外の PFAS の国内の検出状況

(参考資料)

### 【目次】

- ① 令和2年度有機フッ素化合物全国存在状況把握調査結果一覧(PFHxS)……1

## 令和2年度有機フッ素化合物全国存在状況把握調査結果一覧 (PFHxS)

報告下限値は、PFHxS：0.1ng/lとし、下限値未満の数値について「<0.1」と記載。

No.	都道府県名	市区町村名	地点区分	地点名 ※ 1	河川・湖沼・海域名	PFHxS (ng/l)
1	北海道	大空町	河川	女満別町上流 (空港橋)	トマップ川	28
2	青森県	三沢市	地下水			0.4
3	岩手県	北上市	河川	和賀中央橋	和賀川	<0.1
4	宮城県	多賀城市	河川	念仏橋	砂押川	0.1
5	秋田県	北秋田市	河川	川口橋 (環境基準点)	小猿部川	1.2
6	山形県	天童市	河川	落合橋	須川	1.1
7	福島県	南相馬市	地下水			0.1
8	茨城県	土浦市	河川	親和橋	花室川	1.4
9	栃木県	真岡市	河川	大道泉橋	鬼怒川	0.1
10	群馬県	高崎市	河川	岩倉橋	烏川下流	0.7
11	埼玉県	狭山市	河川	狭山大橋	入間川	0.8
12	千葉県	成田市	河川	真々田橋	取香川	12
13	東京都	大田区	河川	田園調布堰上	多摩川	7.5
14	神奈川県	大和市	地下水			18
15	新潟県	上越市	河川	直江津橋	関川	0.2
16	富山県	富山市	河川	萩浦橋	神通川	<0.1
17	石川県	輪島市	河川	やすらぎ橋	河原田川	<0.1
18	福井県	越前市	地下水			1.0
19	山梨県	西桂町	河川	富士見橋	相模川	0.1
20	長野県	須坂市	河川	屋島橋	千曲川	0.4
21	岐阜県	海津市	河川	海津橋	揖斐川	<0.1
22	静岡県	菊川市	河川	菊川上流 (菊川高田橋)	菊川	0.1
23	愛知県	名古屋市 ※ 2	河川	日の出橋	新堀川	15
24	三重県	桑名市	河川	横満橋	木曾川	<0.1
25	滋賀県	野洲市	地下水			<0.1
26	京都府	大山崎町	河川	三川合流前		1.2
27	大阪府	堺市 ※ 2	河川	小野々井橋	和田川	4.6
28	兵庫県	加古川市 ※ 2	地下水			1.0
29	奈良県	広陵町	河川	枯木橋	葛城川	1.0
30	和歌山県	和歌山市	河川	土入橋	土入川	0.1
31	鳥取県	倉吉市	地下水			<0.1
32	島根県	浜田市	河川	河口	浜田川	0.1
33	岡山県	備前市	河川	浜の川橋	伊里川	0.2
34	広島県	東広島市	河川	黒瀬川下流	黒瀬川	1.5
35	山口県	下松市	河川	QC-1	切戸川	0.1
36	徳島県	鴨島町	地下水			<0.1
37	香川県	観音寺市	河川	落合橋	柞田川	0.2
38	愛媛県	西条市	河川	中川橋	中山川	1.1

## 令和2年度有機フッ素化合物全国存在状況把握調査結果一覧 (PFHxS)

報告下限値は、PFHxS：0.1ng/lとし、下限値未満の数値について「<0.1」と記載。

No.	都道府県名	市区町村名	地点区分	地点名 ※1	河川・湖沼・海域名	PFHxS (ng/l)
39	高知県	高知市	河川	葛島橋	国分川	0.3
40	福岡県	北九州市	河川	R-6 (紫川取水堰)	紫川	0.4
41	佐賀県	唐津市	海域	唐津湾東	唐津湾	<0.1
42	長崎県	諫早市	河川	高速道下流	西大川	7.0
43	熊本県	玉名市	河川	新大浜橋	菊池川	0.1
44	大分県	豊後大野市	河川	犬飼	大野川	<0.1
45	宮崎県	えびの市	河川	加久藤橋	川内川	<0.1
46	鹿児島県	鹿児島市	河川	第二鶴ヶ崎橋	新川	1.1
47	沖縄県	うるま市	湧水	アカザンガー		17

※1 地下水は私有地において測定している場合があるため、市区町村名までの記載とする。

※2 過去に実施した調査結果から有機フッ素化合物の検出が見込まれ選定された地点。